



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1700号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1762回例会

2008.9.25晴

司 会

花房孝光君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 前田房江君

会長挨拶

会長 亥角裕巳君

皆様こんにちは。暑さ寒さも彼岸までと申しますが、台風一過すごしやすい季節となりました。時のたつのは早いもので、今年度も4分の1が経過し、年末へ向け次々年度の準備が始まろうとしています。ロータリーの仕組みのすごい処は、その組織運営と準備のタイムスケジュールの緻密さであると思います。理念と目標の明確さ、各委員会の役割分担とスケジュール運営は企業の経営に大いに参考になります。先日、会長・幹事会が開催され各クラブの現状報告と問題点を話し合いました。今年度2620地区ガバナーのテーマである「純増1名」について具体的な取り組みについて各クラブとも、減少傾向をくい止め実質的な純増1名に向け真剣に取り組んでいる活動が報告されました。当クラブにおいても会員増強維持委員会を中心として、会員増加運動を展開しています。どんな情報でも結構ですのでロータリアンとして推奨する方がありましたらお知らせください。来年の1月25日のIMのテーマも「会員増強」で各クラブの取り組みについて増強委員会発表があるそうです。ぜひよろしくお願いします。また、来週10月5日に奉仕プロジェクト委員会を中心に「見晴フェスティバル」参加行事があります。毎年西クラブのコーナーは大人気で施設の方も大いに期待しています。大勢のロータリアンが参加し多くの障害者との心のふれあいをしたいと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メー ッ ク プ	修 出 席 正 率
前々回	35/49	71.43%	40/49	81.63%
今回	39/50	78.00%	会員総数	54名

欠席者 荒川君、石井(彰)君、岩崎君、黒田君、
諏訪部(照)君、野口君、森崎君、矢岸君、柳田君
(鈴木(敏)君、米山君)



フェロー表彰 佐野宏三君

幹事報告

幹事 井上幸子君

- ①10月のロータリーレートは1ドル106円です。
- ②9月21日(日) 米山記念館秋季例祭へのご参加ご苦労 様でした。
- ③本年度苗栗交換中学生派遣の依頼に三島市、清水町両教育委員会を訪問しました。
- ④10月2日(木)18:30パスト会長会議を開催します。
- ⑤例会場変更
10月9日(木)プラザホテル本館2階
10月16日(木)米山梅吉記念館

2008～2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D.K.Lee)

夢をかたちに



スマイルボックス

- ◆千葉君、田熊さん、先日はご主人に息子がお世話になり、ありがとうございました。
- ◆遠藤（正）君、一級構造建築士に合格しました。全国で約3000人でした。
- ◆石井（良）君、三島では、30代の男が貴婦人を襲い、現金を奪い、清水町では、野生の猿が園児を襲うという嫌な世の中です。どうか平和でありますように。そして、平和な世の中を守るべき、わたくし石井良衛早退いたします。

卓 話

自己紹介

澤村康子君

私が入会のお誘いをいただいたのは遠藤武子さん、前田房江さんからでした。思いもよらないお話で、1年ぐらいい断り申し上げていましたが、その後、矢岸さんにも勧められ、何にも取り柄のない平凡な私のような者でも良いのですかと念を押した上で入会させていただき決意をいたしました。本当に皆様のご尽力で伝統のある三島西ロータリークラブに入会させていただき誠に有難うございます。皆様の温かいご支援のもとに何とか頑張っていくつもりです。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

私は、昭和20年7月3日に生まれまして今年で64歳になります。清水町に住みながらにして、三島西小学校と三島北中学校を卒業いたしました。昔の事を少し思い出してみますと、幼い小学生の頃は、この周辺に沢山お友達がおまして、学校が終わると広瀬川で泳いだり、今の白雪通り周辺でかくれんぼをしたり、プラザさんの裏あたりに図書館があり、サザエさんの漫画を読みに行くのがとても楽しみでした。又、十五夜には秋の七草のワレモコやおみなえし、すすき等を摘み取りにギオン山に登り帰りには友達と手をつなぎ夕焼けこやけの歌などうたいながら、日が暮れるまで本当によく遊んだものでした。中学生になりまして、三島市立北中学校へ3年間清水町から一日も休むことなく通いました。通学路の楽寿園裏の川は朝方湯気のようなものが立ちこめ、水はあふれ、美しいその光景は今でも目に浮かんでくるようです。そしてその後沼津の高校に行きまもなく20歳で結婚をすることになりました。結婚当初主人はサラリーマンでした。給料を貰うと3日位帰ってきませんでした。給料袋にはいつも100円玉

が3個ぐらい入っていました。会社の部下を連れて豪遊していたようでした。その後主人は体調を崩し33歳という若さで胃潰瘍になり胃の摘出手術を受けました。胃の無くしてしまった人が今後生きていけるのだろうか、当時まだ20代の私は必死の覚悟の看病でした。そして5年ぐらいい順調な回復の日々が過ぎこんなに健康になって本当に良かったと思っていたある日、当時主人は船の免許持っておりまして「サラリーマンじゃヨットも買えない」と突然そんなことを言いだし今まで勤めていた会社をさっさと辞め友人と共同で運送会社を設立しました。ところがその後一年位たって全くの素人どうしの経営でヨットを買うどころか自転車もかえすの解散でした。その時私が出資したお金は返ってきませんでした。其の後また他の友人と共同で運送会社を立ち上げたのですが、それもまもなく決裂してしまいました。2回の失敗に途方に暮れている主人を見まして私も当時勤めていた会社を辞め主人の右腕になることを決意し昭和50年現在の梱包業を立ちあげました。簿記と珠算の事務系の仕事しか知らなかった私も現場に入り釘打ち機を持ち木杵造りに明け暮れました。当時のバブル景気に乗り2年後の昭和52年に法人化することができました。その後はバブルの崩壊、オイルショックと様々な事がありましたが、主人の経営方針はあくまでも相手の立場になるというこでその考えは曲げませんでした。そしてその後これからという一年半ほど前1月7日3年間のガンとの闘いの末他界いたしました。43年間いろいろなことがありましたが、私としては心からお疲れ様でしたと言いたいと思います。日本の経済が昨年あたりから様子が変わってまいりました。そんな大変な時主人から突然会社というバトンを渡された私はどうすればいいのかさっぱりわかりません。が幸いにも二人の息子がなんとかやってくれております。相手の立場になって相手がやってくれるのが当然ではなく皆様に支えられてこそ今日が在るのだということを忘れず皆で頑張っていこうと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

私の趣味は登山と言いたいところなのですが最近では体重の増加と足のひざ痛であまりできなくなりまして山野草の咲く2000m前後の小高い山へ登り温泉に入り地酒をいただくのが今の私の最高の贅沢でございます。又最近では60の手習いで水墨画を台湾の先生の指導のもとにやり始めました。ロータリークラブに入会させていただきましてから女性会員の井上様からはプライド持ってね、田熊様からはとにかく休まないで出席すること、遠藤様や松坂様、前田様からは楽しくやりましょう。と言う温かいお言葉をいただきました。少しでも皆様に近づくよう努力を重ねて行きます。ご指導のほど宜しくお願い致します。

（週報担当:勝間田信輔）